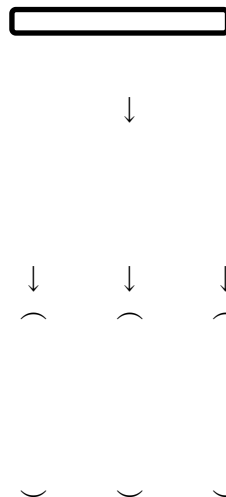


楷書の学習

() (組) (番) 氏名

★楷書とは？ ※階ではありません

- ・楷樹(かいのき)の葉の付き方から
- ・楷Ⅱ正しい、整ったという意味がある
- ・楷書Ⅱきちんと整った書体



この三段階の構造を
「一」と
いい、これがあるの
が楷書である。

★臨書とは？

- ・過去の優れた筆跡を手本として書くこと。
- ・臨書をしたら名前の下に () と書く。

★教科書33p・資料集43p

『 北魏時代 五一年 』

山東省の雲峰山、天柱山などにある鄭道昭が作った磨崖碑(天然の石肌を磨いて文字を刻した碑)。鄭道昭が父鄭羲の人徳や業績をたたえて書いたものである。線筆には独特の趣があり、うねりをおびており雄大で円勢に富んでいる。

雄大な書 (ゆったりとのびやかな書)

特徴… () ↓起筆や収筆、転折に丸みを持たせた

- ・直筆 ↓ 筆管を垂直に立て、穂先が画の真ん中を通る
- ・ () ↓ 筆の穂先が線の中心を通ること
- ・蔵鋒 ↓ 穂先を () 内側に包み込むようにした起筆
- ・線にうねりがある

★教科書32p・資料集40p

『 北魏時代 四九五年 』

龍門石窟の古陽洞内(洞窟)にある。その内外に多くの仏像が刻された。仏像の多くには像を作った由来が刻されており、これらを造像記という。亡くなった息子の牛櫛の供養のために、母が仏像と銘文を刻ませたもの。

雄大な書 (力強い書)

特徴… () ↓ 起筆や収筆、転折を角張らせた形

- ・露鋒 ↓ 穂先が点画の端に現れる起筆
- ・側筆 ↓ 筆管をやや傾け、穂先が画の外側を通る

★教科書22p・資料集50p

『 唐時代 六二八〜六三〇年頃 』

唐の太宗が、学芸振興のため都長安(現在の西安)に孔子の霊を祀る廟を記した記念碑。初唐の三大家の一人である虞世南が作ったものである。

穏やかで格調高い書

特徴… () ↓ 画の中程を外側に膨らませた形

・のびやかな横画や右払い

・温雅な趣、気品の高い

★教科書 24 p・資料集 51 p

『 』 唐時代 六三二年 『 』

唐の太宗が、帝室の離宮である九成宮に避暑に訪れた際、偶然にもおいしい水の湧き出る場所を見つけたことを記念して建てられた碑。魏徵が撰文し、歐陽詢が書写の命を受け作った。

「 」

特徴…・（ ） ↓ 画の中程を内側に引き締めた形

・横画は（ ）く、縦画は（ ）い。

★教科書 26 p・資料集 53 p

『 』 唐時代 六五三年 『 』

玄奘三蔵法師がインドから仏典を持ち帰りそれを漢訳した功績をたたえるため、唐の太宗が序、皇太子後の高宗が記を作り、褚遂良が書写したものを二つの碑に刻したものである。長安(現在の西安市)の慈恩寺の大雁塔に安置されたのでこの名がある。

軽快な書

特徴…・（ ）く書く

・筆の（ ）を生かす

・藏鋒 ↓ 穂先を（ ）内側に包み込むようにした起筆

★教科書 p28・資料集 59 p

『 』 唐時代 七八〇年 『 』

父惟貞を祀った廟に、顔氏一族のことを記した文を作り書写した碑。顔真卿は正義感が強い剛直な人物で、忠臣とたたえられていた。

重厚な書

特徴…・文字の胴体を広く構え、横画を（ ）く、縦画を（ ）くした字形

↓現在の（ ）

・（ ） ↓ 起筆が蚕の頭のように丸みがあり、右払いの収筆が燕の尾のようあること

★初唐の三大家

（ ） （ ） （ ）

★唐の四大家

（ ） （ ） （ ） （ ）